

The University Times

http://jtimes.jp/utimes produced by IELTS by Eiken × The Japan Times ©THE JAPAN TIMES, LTD. 2013

October 2013 Vol.29

CONTENTS

<p>■ Visit a Global Company : グローバル企業訪問 三菱地所株式会社 1 2</p> <p>■ Journalist's Eye : 英字新聞記者の視点 「東京五輪を応援するみこしパレード」 「アニメ映画監督・宮崎駿が引退発表」 3</p>	<p>■ Special Feature: 特別読み物 主要大学のキーパーソンが語ったシンポジウム 「グローバル人材を育てるための英語教育」 4</p> <p>■ Learn About Industries: この業界を知りたい! 旅行業界 5</p> <p>■ Studying Abroad in the U.S.A.: 私の米国留学 / 読んでほしいこの3冊 米国留学記 / 書籍紹介 6</p>	<p>■ News in English 英文記事を読んでみよう 7</p> <p>■ University's Challenge : 国際交流に取り組む大学 法政大学 8</p> <p>■ Study Abroad Benefits: 留学で培う3つの力 ミスを恐れない力・自分と向き合う力・決断力 9</p>	<p>■ Special Feature: 特別読み物 IELTS 奨学金 10</p> <p>■ IELTS リーディングテストのコツ 11</p> <p>■ Crossword and Trivia 読み物 12</p>
---	--	--	---

Visit a Global Company : グローバル企業訪問

人と街を想う力が、 会社を支える

Vol.19 三菱地所株式会社

歴史と現代が調和したロンドンの中心地パタノスタースクエア。これを作ったのが日本の不動産会社だと知ったら驚く人も多いのではないだろうか。40年以上にわたって、海外でも実績を積み重ねてきた三菱地所。継続的な海外事業展開は、今まさに加速度を増している。

ノスタルジックな佇まいの東京駅赤レンガ駅舎前に広がる丸の内エリアは、日本を代表する大手企業が集まる世界でも指折りのビジネス街。近年、再開発の著しいこのエリアには、ザ・ペニンシュラ東京といったラグジュアリーなホテルや、丸ビルに代表されるショッピング施設、美術館が次々とオープン。緑の並木道にはカフェやショップが建ち並び、ビジネスマンや買い物客で賑わう華やかなエリアとなった。

この一帯の都市開発を、100年以上にわたってリードしてきたのが三菱グループの総合デベロッパーである三菱地所だ。

同社の主な業務はオフィスビル、商業施設、住宅等の開発・運営・管理等で、丸の内エリアはもとより全国で事業を展開している。

今や横浜名所のひとつとなったみなとみらい地区や、2013年に街びらきをした大阪駅北地区(うめきた)の再開発も三菱地所がリードしてきた事業のひとつ。札幌や仙台などでも都市ぐるみのダイナミックな開発を手掛けている。

また三菱地所グループとして全国8カ所で展開する「プレミアム・アウトレット」といった商業施設や、高級ホテルチェーン「ロイヤルパークホテルズ」、マンションブランドの「ザ・パークハウス」「パークハピオ」などの住宅事業も積極的に展開している。

そして三菱地所を語るのに欠かせないのが、国内デベロッパーの中でもかなり早期から海外に目を向けてきたという点だ。1972年の三菱地所ニューヨーク社の設立を皮切りに、現在はロンドン、シンガポール、上海の4地域に現地法人を設置している。

同社の海外事業で特に有名なのが、桜庭ななみが出演する「三菱地所を、見に行こう。」のCMでも紹介されているロンドン・パタノスタースクエアの再開発だ。世界金融の中心地、ロンドンのシティ。古い建物も数多く残るこの街の、歴史的建造物であるセントポール寺院の隣接地で三菱地所が手掛けた「歴史と調和した機能的な街づくり」は現地でも高く評価されており、2003年のオープン以来、市民の憩いの場として、また観光客も多く訪れる場所として親しまれている。

組織を強くするのはさまざまな個性と価値観

米国・英国・アジアの3極体制でグロー



有楽町駅から東京駅まで、洗練された街並みが続く丸の内エリア。
(左上) 一号館広場 (右上) 丸の内仲通り (下) 右が丸ビルで左が新丸ビル

バル展開を進めている同社。将来的には海外事業をグループ営業利益の2割程度まで伸ばさせることを目標として掲げている。

「現地法人やグループ会社に駐在する社員も、今後はさらに多くなるでしょう。また弊社の国内オフィスビルに海外企業を誘致するといった業務の重要性も増しており、社員全体のグローバル力向上に取り組んでいます」(人事部 副主事 伊藤高久さん)

現在、同社で新卒採用しているのは「総合N職」のみ。NとはNon area fixed、つまり配属エリアが限定されないという意味合いだ。入社後は国内の各支店への転勤もあれば、海外の駐在もある。業務内容も営業や販売、開発とさまざま。三菱地所のありとあらゆる仕事に携わる可能性があり、基本的には最初の10年間で3つの部署をローテーションする。

入社後1年間は教育係である「OJTインストラクター」が一对一で付き、仕事をしながら業務を学んでいく。同時に必修から選択制までさまざまな研修制度を設けて、ビジネススキルの向上をバックアップしている。

前述のように業務の上で海外との接点もますます増えているため、語学学校通学の費用補助制度や、社内で英語力を測る場を定期的に設けるなど、語学力向上のサポートも多彩だ。とは言え、エントリーの段階では英語力を特別重視しているわけではないという。

「組織というのはさまざまな個性や価値観を持った人間が集まって強くなるものです。その意味では英語に強いというのも個性かもしれませんが。しかし、学生の皆さんには英語に限らず、興味のあるものを探してどんどんチャレンジをしてみたいと思います。それが個性に繋がると考えますし、学生時代にしかできない経験は、社会に出てから必ず財産になりますから」

一方で、これだけは押さえておいてもらいたいという能力もあるという。それが、コミュニケーション能力だ。もちろんどんな業界でも求められる能力ではあるが、デベロッパーは特にこの能力を求められる場面が多いそうだ。

「建物を建てるときには、実に幅広い方々



人事部の伊藤高久さん

Visit a Global Company

グローバル企業訪問

との関わりが生まれます。設計会社・ゼネコンといった建築現場で働くプロフェッショナルはもちろん、近隣にお住まいの方々や行政機関、テナントなど——なかには利害関係が相反する人ともコミュニケーションを取らなければいけない。その際の聞く力、伝える力というのはとても大事なんです

三菱地所の拠点である丸の内エリアは、大規模再開発の真っただ中にある。海外企

業の進出や街並みの整備もますます進むことだろう。

「こんな建物があったらみんなが喜ぶんじゃないか、こんな街なら人が集まるんじゃないか」という思いを持って行動するのが、デベロッパーという仕事です。だからこそ、単に『会社に入れればいい』ではなくて、『どんな仕事を成し遂げたいのか』という意思を持ってほしいですね。弊社の社員は700名弱ほどと決して多いほうではあり

ません。ただ一人ひとりが当社ブランドスローガンである『人を、想う力。街を、想う力。』をしっかりと持っている。これからもそんな会社でありたいと思っています」

三菱地所株式会社

1937年、三菱合資会社の不動産部門・建築部門が分社して「三菱地所」が設立。丸の内エリアの土地建物営業権を譲り受け、同地区の開発を推進する。現在も同エリアに「丸ビル」「新丸ビル」といったオフィスビルや商業施設などを多数所有。また仙台の「泉パークタウン」や横浜の「みなとみらい地区」、大阪の「うめきた」など全国規模で都市開発に携わる。商業施設では「プレミアム・アウトレット」や「MARK IS」など、マンションでは「ザ・パークハウス」などのブランドを持つ。海外事業への意欲と実績は国内デベロッパーでも随一で、現在はニューヨーク、ロンドン、上海、シンガポールに現地法人を構える。

グローバル企業の先輩に聞く！

ビジネスの活気に満ち溢れる丸の内エリアに惚れ込んで

ジョン イドゥン

田学培さん

三菱地所株式会社
街ブランド企画部 東京ビジネス開発支援室



カナダの短期大学、日本の大学を卒業し、2010年入社。「ビルソリューション推進部」に配属され、ビル建て替え時などのコンサルティング業務を担当。2013年に現在の部署に転属し、アメリカ西海岸のIT企業の日本誘致を担当する

Q 現在の業務内容について教えてください。

A 2012年に立ち上がった「東京ビジネス開発支援室」という部署では、成長戦略センターというプロジェクトを掲げています。これは丸の内エリア再開発の一環として、成長著しい海外企業や海外展開を目指す日本のベンチャー企業等を対象に、ビジネス支援及び丸の内エリアへの誘致を目指す「需要喚起型」のプロジェクトです。

私は主にアメリカ西海岸・シリコンバレーのIT企業を担当し、丸の内エリアでビジネス展開する魅力をご提案しています。現状はスモールスペースでの賃貸が主ですが、ゆくゆくは担当した企業が成長し、この丸

の内エリアで賃借スペースを拡張していただくことを目指しています。

Q 具体的にはどのようなビジネス支援を？

A 例えば、弊社のネットワークを活用し、日本で顧客となりうる法人を紹介したり、日本での知名度を高めるため、弊社が開催するイベントでプレゼン機会をご提供するなどの支援をしています。

Q 英語をバリバリ活用して仕事されているようですが、どのように英語を習得されたのですか？

A まずお断りさせていただくと、実は英語はそれほど得意ではないんです（笑）。高

校を卒業してカナダに3年おりましたので、リスニングとスピーキングはあまり問題ないのですが、読み書きは今だにハードルを感じますね。カナダでは短期大学の前に語学学校に1年間通ったんですが、向こうの語学学校では体系的な文法を教えてくれません。むしろ読み書きに関しては、日本の英語教育のほうが優秀だと向こうに行きまして。もともと私は韓国ソウル生まれで、8歳で来日して日本語を覚えた背景があるので、「語学は習うより慣れる」という経験則を信じていました。そのため中高ではあまり英語をマジメに勉強せず（笑）、そこは今になって後悔しています。

Q 語学の壁を感じるのとはどんな場面ですか？

A 西海岸への出張やスカイプでの面談もありますが、日々の基本的なやりとりはメールです。この点ではかなり気を使います。例えば、海外からのメールで「てにをは」が間違っていたらすごく気になりますよね。こちらから海外にメールする際も同じです。さらにビジネスメールですから、あまりダイレクトな言い回しではいけない。たとえ先方がフランクな言い回しをしてきても、こちらは提案する側。立場の違いも考慮しながら言葉を選ぶ必要があります。先輩に赤ペンチェックを入れてもらいながら、ときには1～2時間かかってやっとメールを書き上げるときもあり、「業務の足を引っ張ってるなあ」とヘコむときもあります。「ミスも経験のうち。どんどんメールを書け」と背中を押してくれる先輩の存在がとてもありがたく、心強いですね。

Q そもそもデベロッパーという職種に興味をもったきっかけは？

A 留学から帰国後は関西の大学に編入したんですが、就活にあたってまずは東京を知ろうと3年生の夏休みに山手線を一周したんです。そのときに驚いたのが、東京って一駅違うだけで街の風景がガラリと変わるんですね。特に三菱地所のある東京駅・丸の内エリアを歩いたときは、なんてカッコいい街なんだろうと感動しました。歩いているビジネスマンもビシッとしてるし、ゴミひとつ落ちてない、ビルのドアひとつとってもスタイリッシュ。田舎育ちの僕にとっては何もかもが衝撃的でした。いったいこの街はどうやってできたんだ!? それを調べていくうちに、三菱地所という会社に行き着いたんです。

Q 日本の大学には2年いたことになりませんが、どんな過ごし方をしていましたか？

A 3年生からの編入で必死に単位を取らなければいけなかったんで、遊ぶタイミングは逃してしまいました（笑）。ただ人と関わるのが好きなので、仲間たちと七夕祭りを開いて街の方々に参加していただくなどの活動はしていました。あとはもっぱら友達とモノポリーというゲームをやっていました。当時はそんなことは意識していませんでしたが、モノポリーってお金の流れや不動産の勉強になるんですよ。一見、遊びのようにみえても振り返ると今につながっていたなと感じることはたくさんあるので、学生の皆さんは、何でも良いから究極までやってみることをオススメします。

Q 最後にこの業界での夢、そしてどんな後輩と一緒に働きたいかを教えてください。

A まだまだ遠い将来になると思うのですが、いつか自分で一からプランを立てて建物を建てたいですね。商業施設でもオフィスでも住宅でもいいんですけど、自分の仕事を形として残したいんです。「あの建物、俺が建てたんだぜ」って一度は言いたいじゃないですか（笑）。一緒に働きたいのは行動する人間ですね。情報はいくらでもネットで拾えるけれど、自分の足で歩いて、目で見て、肌で感じることの大切さを知っている人間と言いますか。1985年生まれのギリギリ昭和世代なので、感覚がけっこうアナログなのかもしれません（笑）。

田さんの お仕事アイテム



「気になった新聞記事は切り抜いて保存しています。メモはiPadも使いますが、手書きのほうが記憶に残りやすいですね。海外でのメールチェックは会社支給のBlackBerryが便利です」

Journalist's Eye

英字新聞記者の視点

日本のニュースを英語で発信しよう！

英字新聞 The Japan Times 記者が語る
日本の「今」を世界に伝えるための心得

—— Vol. 19 by Tomohiro Osaki

日本で起こっていることを外国人に伝えるときは、物事の背景を理解し、それを外国人にわかりやすく説明するスキルが求められる。このコーナーでは、英字新聞 The Japan Times の記者に登場していただき、記事をより深く理解し、自ら説明できるようになるためのコツを教えてください。今回は、東京で開催されるオリンピックへの期待の声と、海外でも高い評価を得ているアニメ映画界の巨匠・宮崎駿監督の引退について、尾崎智洋記者に伺った。



アーティスト日比野克彦氏が中心となり、手作りのみこしでパレードした

SHINO KITO

■東京オリンピックを応援するみこしパレード

- About 140 people paraded through Tokyo's Ueno Park with handmade portable shrines as part of the events designed to support the city's bid to host the 2020 Olympics.
- 2020年東京オリンピック開催地に立候補している東京を応援するイベントの一つとして、約140人の人々が、手作りのみこしで東京の上野公園でパレードを行った。

2020年の夏季オリンピックが東京で開催されることが決まりましたが、それに先立って、オリンピック開催を応援するためのイベントが、8月31日に東京の上野公園で開かれました。

東京芸術大学教授であるアーティストの日比野克彦さんが中心となって、芸大の学生や東京都美術館のボランティアの人々が集まり、自分たちの作ったみこしを披露したのです。みこしは五輪を象徴する5つの球体から成り、8月の初めから一般に公開するかたちで、上野公園で制作されていました。日比野さんは、「古

代オリンピックはそもそも人体の美を称える祭典だったので、その本来の意味を思い出してもらうのに最適のイベントではないでしょうか」と語っていました。

■災害からの復興を世界に伝えるチャンス

当日は小さい子どもやボランティア、たまたま通りがかった通行人などさまざまな人がパレードに参加し、「ぜひとも東京にオリンピックを」という気持ちを語ってくれました。

みこし作りで中心的な役割を果たした東京芸大の学生は、「東京が世界に注目さ

れることで、アートの世界が活性化するかもしれないし、「内向き」と言われている日本の若者にとって、いい刺激になるのでは」と期待していました。東日本大震災で日本が大きな被害にあった後ということもあり、「どれだけ復興を遂げたか、オリンピックで日本を訪れる外国人に自分の目で確かめてもらえるのでは」と言う人もいました。

■外国人も東京開催を応援

パレードの現場に行くまでは、集まった人の中に外国人がいたら感想を聞くことができるのでは、というくらいに考えていたのですが、いざ現地に着いてみると、大勢の外国人がパレードを見物していて驚きました。中には東京がオリンピック開催地として立候補していることを知らない外国人もいて、東京の知名度を高めるという意味でも、このイベントを行う意義があったのではないかと思います。イギリスから来た観光客の男性は、「東

京は整然として、交通機関も発達している。オリンピックを行うのにいい街なのでは」と話していました。「日本人は親切で、温かいおもてなしの心 (hospitality) を持っている」というのも、さまざまな外国人に共通した意見でした。ただ、「街中で英語が通じにくい」というのも、皆同様に感じていたことのようにです。「日本人は英語が話せないながらも、一生懸命、外国人を助けようとしてくれている。街はきれいで安全だし、これで英語が通じれば、本当に安心して滞在できる」と思っていたようです。

オリンピックをきっかけに、外国人がより日本という国に興味を持ってくれるようになるのはうれしいのですが、同時に災害時の対策がしっかりできているのかなど、世界から厳しい批判の目を向けられることも確かだと思います。開催まで7年の間にどれだけのことができるのか、これからも記事を通して伝えていきたいと思っています。

*参考記事 <http://www.japantimes.co.jp/culture/2013/09/02/arts/artist-hibino-directs-celebration-of-olympian-aesthetics/#.UjP2ldJA2JV>

■世界的なアニメ映画監督・宮崎駿が引退発表

- Hayao Miyazaki, the retiring czar of Japanese animation, said that while he will no longer be at the forefront of creating feature-length animated movies, he will be a "freed man" pursuing his own interests as long as he can.
- 引退する日本アニメ界の巨匠宮崎駿は、長編アニメ映画制作の前線からはもはや退き、自身の興味をできるだけ追求する「自由人」になりたいと語った。

今年の夏、最新作『風立ちぬ』(The Wind Rises)を発表したアニメ映画監督の宮崎駿さんが引退を発表、その会見が9月6日に東京で開かれました。宮崎さんは、日本はもちろんのこと、海外でも大変高い評価を得て、会場にはイタリア、フランス、韓国など外国人の記者の姿が多く見られました。とある外国人記者は、「引退すると寂しくなりますね」と率直に感想を述べていました。

■アメリカでアカデミー賞を受賞

宮崎監督は1984年のアニメ映画『風の谷のナウシカ』(英語名Nausicaä of the Valley of the Wind)でその名を知られるようになり、『魔女の宅急便』(Kiki's Delivery

Service)、『もののけ姫』(Princess Mononoke)といった代表作があります。2001年の『千と千尋の神隠し』(Spirited Away)では、アメリカのアカデミー賞の長編アニメ賞、ドイツのベルリン国際映画祭で最高位の金熊賞を受賞、国内で304億円という興行収入は、現在も日本の歴代映画作品の中で1位の座を占めています。

宮崎アニメでは主に少年少女を主人公とし、自然や人々の心のふれあいを描いたものが多いのですが、監督自身は、「経済成長で浮かれる日本の中であって、日本人の根本にあるものを問いかけたかった」と語っています。外国人にとってはそれが、日本のありのままの文化、変わ

らぬ風景に出会う機会と捉えられていたのではないのでしょうか。

■今度こそ本当に引退？

実は、今回の会見に先立って、イタリアのヴェネチア国際映画で『風立ちぬ』が上映された際、宮崎監督が立ち上げた制作会社「スタジオジブリ」の星野康二社長が、『風立ちぬ』は宮崎の最後の作品となり、彼は引退する」といったことを語っていたのです。これはさっそく大きなニュースとなりましたが、監督はそれまでも「そろそろ引退する」とも思っていたことがあったことから、「今回も実際に引退するわけではないのでは」と考える人がいたようです。アメリカ在住のとある映画評論家は、「宮崎駿は『風立ちぬ』で数々の新しい挑戦をしている。これを最後に引退しようという人が、新しいことを手がけようとするだろうか」と語っていました。

宮崎監督はそれまで、日常の中でのファンタジーな世界を描くことが多かったのですが、『風立ちぬ』は実在の人物である戦闘機の設計士をモデルにしたリアルなストーリーで、関東大震災の被害、迫り

くる戦争への不安など、内容も決して明るいものではありません。そんな時代の状況の中でも夢を追い続ける主人公の姿を描き、映画は7月の公開以降、大きなヒット作となっています。

インターネットなどで一般の外国人の反応を見たところ、72歳という年齢について、「まだまだやれる」という声もある一方、「これだけの作品を生み出してきたのだから、そろそろ休んでいいのでは」という人も多いようでした。監督自身は、「これからやりたいことがたくさんある」とのこと、映画の仕事からは退くものの、館主を務める「三鷹の森ジブリ美術館」の仕事は続け、これからもアニメの世界に携わっていくようです。

*参考記事 <http://www.japantimes.co.jp/news/2013/09/06/national/miyazaki-vows-he-wont-be-idle-in-retirement>

●今月の記者●

尾崎智洋さん

TOMOHIRO OSAKI

2013年ジャパンタイムズ入社。法務省、裁判所などの取材を担当し、主に司法関連の記事を手がけている。これまでに難民や婚外子の問題などを取り上げてきた。

Special Feature

特別読み物



主要大学のキーパーソンが語ったシンポジウム

「グローバル人材を育てるための英語教育」

2013.8.31 京都大学

日本の国際競争力を高めるため、大学や教育機関の専門家たちは、どのようにグローバル人材の育成に努めているのか。主要大学のキーパーソンらを招いたシンポジウムが、8月31日(土)、JACET(一般社団法人大学英語教育学会)の国際大会において開催された。



英語による授業で留学生増加

若者の「内向き志向」や経済的要因のためか、日本では海外への留学者数が減少する傾向にある。一方で、文部科学省や経済産業省はグローバル化のための施策を押し進め、国際社会で活躍できる人材の育成を支援している。今年京都大学で開催されたJACET(一般社団法人大学英語教育学会)主催の第52回国際大会では、京都大学の森純一国際交流推進機構長・教授、国際基督教大学(ICU)の日比谷潤子学長、上智大学の吉田研作言語教育研究センター長・教授らを招いた公益財団法人日本英語検定協会主催のシンポジウム「グローバル人材を育てるための英語教育」が開催され、日本の大学の英語教育をリードする先進的な取り組みについて紹介された。

京都大学は2009年に文部科学省による「グローバル30(国際化拠点整備事業)」の拠点の一つとして採択され、英語による授業で学位を取得できるコースの拡大など、国際化戦略を押し進めてきた。「グローバル30の成果として、学位を取得する目的でやってくる留学生が増加しました。2008年の時点では1,353人だっ

たのが、2013年には1,773人となっています」と、森教授。タイの大学などと提携して、農学・医学・エネルギーといった分野において、京大と海外の大学で同時に学位が取得できるダブル・ディグリーの制度を設けたり、学内の留学生向けに「日本学」「アジア学」といった授業を充実させたりする工夫も行ってきた。「留学生の増加によっ

て、キャンパスが国際性・多様性の高いものになり、日本人学生にもいい刺激を与えています」

受け入れ学生数が増える一方で、交換留学の派遣学生数も増やそうとしているが、「やはり英語圏の人気の高いのですが、あいにく日本人学生の英語力が不足する傾向にあります。協定校の基準も次第に厳しくなっていて、今はIELTS6.0以上のスコアが必要とされています。今後、英語で行う授業数を拡充し、外国人学生と日本人学生がともに学ぶ機会をさらに増やすなどして、2020年までに、中長期の留学生を年間235人から600人へ、短期の留学生を544人から1,000人へと増やす「ダブル・バイ2020」(2020年までに2倍)という目標があるそうだ。

アカデミック・スキル習得を重視

今年創立60周年を迎え、古くから英語による授業に取り組んできたICUでは、1学年600~700人という小規模大学の特性を生かし、きめ細かい指導を実現させている。教員の34%は外国籍で、全体の7割が海外の大学での学位を持つ。キャンパス内には

教員の住宅や学生の寮があり、ICUに通うことそのものが、多様な文化との出会いをもたらしている。「学内では日英バイリンガルでのコミュニケーションが、日常的なものとなっています。専門科目の英語授業では、アカデミック・ライティングに力を入れ、留学先では、専門科目の単位を取得することを目標としています」と、日比谷学長は述べた。

英語力強化のために、2012年にリベラルアーツ英語プログラム(ELA)を導入。全学生を4つのレベルに分け、1クラス20人程度の少人数制とし、読解・論文作法、英文構成法など、海外の大学でも通用するような、アカデミックなスキルを身につける。そしてすべてのレベルにおいて、Research Writing(論文作成)を締めくくりに課題としている。2年次の終わりにはIELTS6.5のレベルにまで英語力を上げるのが目標だ。メジャー(専攻)選択後の3年次は、「Wコース」として指定された科目では、専門科目担当教員のほか、ライティングをサポートする専門のチューターがつくことになっている。

そして、交換留学、サマーコース、そして実験等を伴う理系学生向けの海外研究など、目的に合ったさまざまな留学に、在学中に旅立つ機会が与えられているのである。

英語で対等にわり合う力をつける

上智大学の吉田教授は、現在ヨーロッパで提唱されているPlurilingualism(複言語主義)を、英語教育の目的とするべきであると述べた。「ネイティブ・スピーカーのように英語を操る『バイリンガル』になる必要はないのです。アメリカ英語でもイギリス英語でもない、『国際言語』としての英語を使って、海外の人々とわり合い、ビジネスで分析・評価などができる力が求められているのです」

同大では以前から、留学生と日本人学生がともに英語で授業を受け学位を取得することができるプログラムの拡充に努めてきた。また、一般外国語教育を充実させるために言語教育研究センター(CLER)を設置。英語を含めた10の言語について、アカデミックなスキルを身につけるとともに、実際に外国人相手に運用できる力を養う授業を行っている。授業の方式としては、

CLIL(内容言語統合型学習)を導入。これは、専門分野について英語で理解し、さらにそれを英語で発信する力をつけることを目的としたものだ。すでに外国語学習に関してはこの方式を採用、2014年度から全学に広げていく予定だという。

2015年度から入学試験に導入するTEAP(アカデミック英語能力判定試験)の紹介もあった。これは、上智大学と日本英語検定協会が共同で開発を進めてきたオリジナルのテストであり、リーディング、リスニング、スピーキング、ライティングの4技能につき、アカデミックな場面での運用能力を測ることを目的としたものだ。

高校やビジネス界での実例を紹介

シンポジウムではさらに、ブリティッシュ・カウンシルで英語講師を務めるロビン・スキブシー氏が、大阪府とブリティッシュ・カウンシルが企画運営した「おおさかグローバル塾」について紹介。3カ月以上の長期留学を目指す大阪の高校生に対し、短期留学準備講座・夏休みの短期イギリス留学・長期留学準備講座が提供されている。今年45人の高校生が、イギリスの大学でサマーコースを体験してきた。「短期準備講座の前は、話すことそのものに恐怖感のある生徒が多かったのですが、10回の準備講座を受けた後は、コミュニケーションを取ろうという意欲が身につけていました」と、スキブシー氏。

最後は日本英語検定協会の河端政夫氏が、エレクトロニクス産業の世界で40年以上活躍、そのうち20年以上を海外で生活した経験から、ビジネスで必要とされる英語について語ってくれた。「技術は日進月歩ですから、新しい情報は、海外の雑誌などを見て自ら入手するようにしました。アメリカにいたときは、自分の考えを論理的に述べることの大切さを痛感しました。いずれにせよ、海外に出る若者には、好奇心、異文化への理解、そして母国語を軸としたアイデンティティの確立が欠かせないものと考えています」

シンポジウムは立ち見が大勢出るとの盛況ぶり、グローバル化教育への関心の高さをうかがわせた。

Learn About Industries

この業界を知りたい!

この **業界** を知りたい!

運輸業界やホテル業界などとともに、大きくは観光業界に区分される旅行業界。今回お話をうかがったJATA（一般社団法人日本旅行業協会）の広報室長佐藤栄子さんによると、魅力ある業界である一方、漠然とした憧れで就職を希望する人も少なくなく、就職後のミスマッチが起こりやすい業界でもあるという。

国内の旅行会社は1万社以上

旅行業界を知るうえでまず押さえておきたいのが、旅行会社の数と種別だ。観光庁の調査によると、旅行会社の数は、10,146社にも上る（2012年）。このうち、従業員100人以上の会社は100社程度と全体の約1%で、小規模な会社が大半を占めるのが旅行業界の特徴の一つだ。旅行会社は、扱う業務内容の範囲により、第1種から第3種までと地域限定旅行業そして旅行者代理業と5つの種別に分かれている。そのうち第1種旅行者は、「海外・国内の企画旅行の企画・実施、海外旅行・国内旅行の手配及び他社の募集型企画旅行の代売」というすべての業務を行うことができる。

「旅行会社によって取り扱う業務も異なります。旅行業界での就職を考えている人は、自分が何をしたいのかを考えて会社選びをしてください」と、JATA広報室長の佐藤栄子さんは話す。

旅行会社によって販売方法にも特徴がある。店頭販売、インターネットでの販売のほか、新聞や独自の会報誌での告知による集客（メディア販売）を行っているところもある。旅行業界は「ホールセラー」といって、自社の企画したパッケージ旅行を他社販売することもある。旅行プランを立てる企画力だけでなく、顧客のニーズにあった内容や価格のプランを探し出して販売するための広い知識と提案力も、旅行会社の社員には必要とされるのだ。

また、登山やスキー、マリンスポーツな

ど、ある分野に特化した旅行会社もある。「近年は特に、専門性の高い旅行会社へのニーズが高まっていますが、定期的な新卒採用を行っていない会社もあるので事前にチェックしてください。また、旅行会社によっては訪日旅行も取り扱っていますが、海外からの受け入れに興味がある人は、ホテル業界や自治体への就職も選択肢の一つですね」と佐藤さんはアドバイスする。

転換期を迎える旅行業界

2012年の日本人海外旅行者数は1,849万人と、過去最高を記録した。また、訪日外国人旅行者数も837万人で前年比34.6%増と、数を増やしている。しかしながら、旅行業界全体の取扱額はわずかながら縮小傾向にある（2012年度は約6.3兆円）。その理由について、佐藤さんは次のように説明する。

「近年は個人旅行、つまり、交通機関のチケットの手配からホテルの予約を直接自分でされる方が増えているため、旅行会社としての売り上げは減少しています。格安航空会社の出現やインターネット予約が一般的になったことも、背景にあるでしょう」

また、人々が旅に求めるものも変化している。ただ旅に行くのではなく、例えば「フラダンスを習いにハワイへ行く」というように、旅に目的を持たせる人が増えてきているのだ。このような状況を受け、旅行業界は転換期を迎えている。

「旅行に付加価値が求められており、旅行会社にはより高い企画力や提案力が必



JATAが開催する「旅博」は、毎年10万人もの来場者を数えるアジア最大級の旅の祭典だ。世界の各エリアの最新情報を入手できるブースや物品販売、ステージパフォーマンス、特別講演のほか、旅行業界で活躍する社員による業界紹介も行っている

要になってきています。そして、ただパッケージ旅行を売るのではなく、相手とコミュニケーションをとりながらニーズをくみ取り、それに合った企画を作り、提案することができる人材が求められているのです」

旅行会社の仕事は、B to C (Business to Customer: 個人向けビジネス) だけではない。企業や団体を顧客としたB to B (Business to Business: 法人向けビジネス) もあり、そこでも企画力や提案力が求められる。例えば、中学校の修学旅行を受注したいとする。まずは、歴史教育、環境教育、平和教育など、その学校が何に力を入れているのか、旅行に何を求めているのかを、しっかり把握する。そして、行き先を提案するだけでなく、現地での体験学習や修学旅行へ行く前の事前学習、事後学習まで提案することもある。

「旅行業界に限りませんが、営業力とはすなわち、コミュニケーション力だと思います。相手の話を聞き、問題や課題を解決するために、お客様のニーズにあった提案をする。旅行に関する知識はもちろん必須ですが、それだけでは務まりません。旅行はかたちのないものですから、それを売る際には相手とのコミュニケーションが何よりも重要になるのです」

“人の力”が旅を作る

JATAでは、観光庁と連携した独自のイ

ンターンシッププログラムの導入を検討しており、2013年度には試験的に行った。マナーなどを学ぶ事前教育を受けた後、異なる2社の旅行会社で就業体験を積み、事後研修まで行う充実したプログラムだ。来年度からは本格的に導入する予定であり、旅行業界を志望する人にとっては、業界を知り、実際に体験するまたとない機会となるだろう。また、毎年秋には、アジア最大級の旅の祭典である「JATA旅博」を開催している。そのなかで、旅行業界の仕事の紹介を行っており、実際に働く人たちの声を聞くこともできる（2013年は9月12日～15日に開催）。

最後に、旅行業界を目指す人に向けて、佐藤さんはメッセージを送る。

「旅行業界の仕事は、旅が好き、だけでは務まりませんが、旅が好きな気持ち、旅で経験した感動を伝えたいという思いは大切です。会社によっては海外との交渉などもありますので、英語の勉強をしっかりとっておくと、就職先の幅も自分自身の可能性も、より広げることができるでしょう。旅を作るのは、“人の力”です。自分の感性や能力を発揮できる魅力ある仕事なので、ぜひチャレンジしてほしいと思います」

一般社団法人日本旅行業協会 (JATA)
http://www.jata-net.or.jp/

世界基準のビジネス英語能力テスト

BULATS

The Business Language Testing Service

世界約47カ国1,172団体、
日本でもすでに350以上の企業・団体が採用

詳細は www.eiken.or.jp/bulats

お問い合わせ tel 03-3266-6366

mail stepbulats@eiken.or.jp

世界と繋がるために

Are you sure your message is getting through?

BULATS

Fast, reliable,
and global

Studying Abroad in the U.S.A.

私の米国留学

Studying Abroad in the U.S.A.

私の米国留学

アメリカ留学もIELTSの時代へ

～IELTSはアメリカの約3,000の大学・プログラムで認定されています～

アメリカの大学や大学院では、これまで多くの日本人学生が学んできました。そして現在もまた、夢を抱いた学生たちが留学しています。彼らはどんな留学生活を送り、留学で何を感じたのでしょうか。このコーナーでは、留学経験者や現在留学中の学生に、留学の様子やメリット、英語学習、アメリカの魅力などについて伺います。

本コラムは以下の2団体の協力により連載しております。

■JGSAU(米国大学院学生会)http://gakuiryugaku.net/ ■USCANJ(アメリカ学部卒業生ネットワーク)http://www.uscanj.net/



どんな困難にも諦めずに、自分を信じ続ける



諦めない心

英語は昔から苦手だったからこそ、英語でさまざまな人々とコミュニケーションを取りたいと思うようになり、コロンビア大学に入学したのは2012年7月のことでした。日本で歯科医師として働きながら、今後の自分の人生を考えた時、医療システム、保険制度、人種など、さまざまな点で日本と異なるアメリカという国で臨床的なことを学ぶことや、留学費用と時間を使うことにメリットがあるのかを悩み、自分が出した結論は、3年以内に留学できなかつたら諦めるという結論でした。勤務の合間に勉強を行い、TOEFLのスコアを取り、最後のチャンスで入学許可の連絡が来た時には、鳥肌が立ちました。諦めず自分を信じ続けたこと、時間的な制限を自分に設けることで自分を追い込んだことが、結果につながったのだと思います。

留学準備で学んだことを生かす

コロンビア大学での大学院生活はとても充実しています。医療系の大学院であることから、研究や授業だけではなく、実際に患者さんを受け持ち、教授陣と最適な治療方針を決定し、実際の治療まですべて行います。どの患者さんにも、彼らと協力して治療を

コロンビア大学歯学部 辻 翔太さん

行っていくため、一人ひとりの患者さんの治療の進行具合について彼らと常に連携を取る必要があります。私は留学生であるため、ほかの人以上にmiscommunicationをしないよう、日々心がけてはいたものの、最初は考え方や治療方針の違いから、彼らとコミュニケーションがうまく取れず、治療の内容で激しい言い争いになることもありました。しかし、諦めずやり続けることで、現在では円滑に治療を進められるようになり、他科から個人的に患者さんを紹介してもらえる信頼を勝ち得ることができるようになったのです。

留学準備の時だけでなく、留学後はなおさら、さまざまな困難と出会い、それを一つずつ乗り越えていく必要があります。結果が出るまでは、非常に苦しいこともあります。やりきった時の達成感、次の目標を達成するためのエネルギーにすることができます。どんなことも諦めず、自分自身に嘘をつかずやり続けること。これが留学を通して私が学んだ、最も価値あることだったと思います。

辻 翔太さん プロフィール



大阪大学歯学部卒業。都内開業医にて勤務後、昨年よりコロンビア大学歯学部歯周病科レジデント。



多様性、多文化の環境で過ごす刺激的な日々

ニューヨーク大学アブダビ校 服部 壮一郎さん

未知の出来事や人物との出会い

朝起きて部屋の窓から外を眺めると、視界にはイスラム教のモスクが目に入り、そこから僕の日が始まります。中東のアラブ首長国連邦アブダビに新しく創設されたニューヨーク大学のリベラルアーツ大学では、このような異文化との出会いは毎日のようにあります。高校3年生の時に偶然この大学のリクルーターと話す機会をもらった後、僕は大学の第一希望をここに決め、数カ月後に「合格」を手に入れました。学生層の多様性に重点をおくこの大学では、強く偏ることなく世界中から人が集まっています。非常に多文化的です。それによって入学してから僕は数えきれないほどの新しい体験や興味深い人との出会いがありました。ある日は、ラテン系の友人が部屋で本格的なサルサダンスを踊っている様子を見て、次の日はアフリカ人の友人がストーブでイモムシを炒めて料理している場面に遭遇しました。勧められて食べたイモムシはカリカリでおいしかったことを、今も鮮明に覚えています。

成長を感じられる大学生活

多くの授業を履修する日本の大学と違い、アメリカ式の大学では1学期に取れる授業は多くても5つです。しかし、代わりに1週間に何回も授業があり、出される課題の量がとても多く驚かされます。理系の僕は昨年、「理系基



アブダビの観光名所、グランドモスク

礎」という授業で、1週間に8コマ(1コマ75分)の授業に加えて4時間の実験がありました。課題の量も半端なく、その一つの授業で毎週4冊の問題集が宿題として出される上に20ページ弱の実験レポートが求められました。課題に圧倒されながらも、教授に質問をする機会は数多くあり、学生に対するサポートシステムは素晴らしいです。また、学業のみに集中してほしいという大学の方針により、学生は多くのことに挑戦する機会を与えられ、僕は東南アジアで人気の「ドラゴンボート」という船で競争するスポーツに参加しています。中東という環境の中で、世界中からの学生を集めたこの大学での生活は、毎日が刺激的で、自分の成長を感じられます。

服部 壮一郎さん プロフィール



3歳から11歳までアメリカで過ごす。公立の中学校を卒業後、同志社国際高等学校に通う。現在はニューヨーク大学アブダビ校で物理を専攻。

JTスタッフがオススメする

読んでほしいこの3冊



世界で活躍するには、語学力のみならず、人間の奥深さも大切。読書を通じて、見聞を広めよう。このコラムでは毎回、ジャパンタイムズのスタッフが大学生に向けてお薦めする本をご紹介します。

●今月の推選人●

クロスメディア営業部 中川 昇 (なかがわ のぼる)

オススメ2

フランス革命 歴史における劇薬

いまを生きる人々の中には選択の自由がありすぎて、逆に何をしたらいいのかまったく分からないとひそかに不満を持っている人もいるのではないかと。しかし、やはり、王や貴族など社会のごく一部に富と特権が集中し、それ以外の人は食べていくこともままならない社会は嫌だ。平等社会への大きな一歩を切り開いたフランス革命を改めて知ろう。

遅塚忠躬 (岩波ジュニア新書)



オススメ1

天切り松間がたり 第一巻～第四巻

本シリーズは、主人公の松蔵という大正時代に活躍した義賊が、現代の留置場で、看守や若い留置人たちを相手にかつての逸話を聞かせる一話完結型の小説。どれも盗人になんだ話のはずなのだが、しびれるほど格好良く、お洒落で、最後は泣ける。義侠心とはこういうものかと勉強になる。粋に生きたい人へ。

浅田次郎 (集英社文庫)

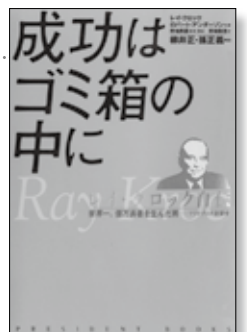


オススメ3

成功はゴミ箱の中に

マクドナルドを“世界のマクドナルド”たらしめたのは、マクドナルドさんではなく、レイ・クロックさんである。ミキサーの一営業マンでしかなかった彼が、アメリカの片田舎にあったマクドナルドに魅了され、そのフランチャイズ展開を手掛けることに。その時、すでに52歳。始めるには遅すぎると言えなくなる本。

レイ・クロック/ロバート・アンダーソン (プレジデント社)



News in English

英文記事を読んでみよう

This month's selections from The Japan Times

Tokyo wins bid to host 2020 Olympics

BUENOS AIRES
KYODO

Tokyo was chosen as the "safe pair of hands" to host the 2020 Summer Olympics on Sept. 7, beating Istanbul and Madrid in voting during the International Olympic Committee's general session in Buenos Aires.

The Japanese capital will be the first Asian city to host the Olympics twice, having also hosted the 1964 Games. Japan will be hosting its fourth Olympics. Sapporo and Nagano hosted the 1972 and 1998 Winter Games, respectively.

In a secret ballot by IOC members, Tokyo beat Istanbul 60-36 in the final round to decide the host city after Madrid was eliminated in the first round. While it did not garner the majority of votes in the first round, Tokyo had 42 votes, the most among the three cities.

Istanbul defeated Madrid 49-45 in a tie-break vote after each receiving 26 votes.

Tokyo overcame fears of the dangers of radiation-contaminated water from the Fukushima No. 1 nuclear power plant, crippled by the March 2011 earthquake-tsunami disaster, about 250 km northeast of Tokyo, to win the vote. It also pressed home the message of using the Olympics as a force in its reconstruction efforts from the disaster.

"We are confident our Japanese friends will be able to provide excellent Games. They are the safe pair of hands they describe," said IOC President Jacques Rogge. "They will provide secure Games, well organized with the welfare of the athletes in mind. I'm quite sure Tokyo 2020 will put the athletes at the center of the Games."

Members of the Japanese delegation hugged and wept with joy as Rogge an-

nounced Tokyo as the winner of the race to host the sporting extravaganza.

"I thought that Tokyo could win," said Tokyo Gov. Naoki Inose said. "But you face the reality of having to make sure you can come across the finish in first. It's exhilarating, just like being an Olympic athlete. We could win because of our teamwork, the prime minister, the athletes, and everyone coming together."

"I have waited so many years to experience this joy. It is an honor to be picked as the host city," added Japanese Olympic Committee President Tsunekazu Takeda, the Tokyo bid chief.

Prime Minister Shinzo Abe touched on the Fukushima problem in Tokyo's final presentation and said the government would never put Tokyo in harm's way, saying, "The situation is under control. Tokyo 2020 will offer guaranteed delivery."

"My heart was pumping (before the announcement) and I am so happy," said Abe. "We will respond to the expectations and support by holding a successful Olympics. I think we conveyed the message that we can hold a safe Olympics."

Abe had stressed at the presentation that the radiation leak has been blocked within the port at the Fukushima complex under constant monitoring.

"We want you (IOC members) to not focus on the headlines from newspapers but the facts," Abe said as he addressed a question on the Fukushima crisis following his speech.

"It is well within the quality of drinkable water posed in the WHO (World Health Organization) guidelines," he said.

Princess Hisako, the widow of Prince Takamado, conveyed in her presentation speech a message of thanks for the IOC's support for children affected by the disas-



Last appeal: Among the members of the Tokyo 2020 Bid Committee who spoke during the final presentation on Sept. 7 in Buenos Aires are (from top left) Princess Hisako, Paralympic long jumper Mami Sato, Japanese Olympic Committee President Tsunekazu Takeda, Tokyo 2020 CEO Masato Mizuno, (from bottom left) Tokyo Gov. Naoki Inose, Tokyo 2020 bid ambassador Christel Takigawa, Olympic fencer Yuki Ota and Prime Minister Shinzo Abe.

KYODO

ter.

Takeda, Japan's lone IOC member, touted Japan's clean anti-doping record in stark contrast with the city's bid rivals that have come under fire in recent months for doping violations by athletes of their countries.

With its high-quality infrastructure and transportation networks, and a government reserve fund of ¥400 billion, Tokyo delivered the message in the run-up to the host city selection that it is the "safest, reliable" city to deliver the Games.

Tokyo was making its second straight bid after losing the 2016 race that went to Rio de Janeiro. Istanbul was making its fifth overall bid, while Madrid was trying for the third time in a row.

"This is the starting line for us," said swimmer Ryosuke Irie, a silver and bronze medalist at the 2012 London Games. "We want to have a great performance in the next Olympics (in 2016) so we can make the 2020 Games our best ever."

Tokyo entered the IOC session in the Argentine capital as the favorite but had to overcome the contaminated-water issue. Madrid faced a challenge of coping with its long-slumping economy, while Istanbul's bid was marred by doping

problems as well as a civil war in neighboring Syria.

"I think they learned their lessons from the first time (bidding for 2016)," said Malaysian IOC member Prince Tunku Imran. "They performed very well today. Mr. Abe gave all the right answers. I think it (Fukushima) was an issue, but I think Prime Minister Abe gave a very good answer and we were all satisfied."

The 2020 Tokyo Games will take place from July 24 to Aug. 9.

"You could see the commitment they made, and now the pressure is on because all of the plans have to come true," said IOC member Anita DeFrantz of the United States. "The federations want to make sure that the plans for their sports come true as authored."

John Coates, an IOC member from Australia, said Tokyo told a fabulous story, even in the face of the Fukushima crisis.

"I thought it (the presentation) was very well done. I've been a chef de mission six times, for me (the bid) is all about the quality of the village, the proximity of the venues to the village, good transport; it's going to be so easy to get around."

About 85 percent of the venues will be in an 8-km radius of the Athletes Village.

Teens held in mugging needed cash for AKB48 garb

Tomohiro Osaki
STAFF WRITER

Four teenage boys were arrested earlier in August for allegedly robbing and injuring a man on a Tokyo street because they needed cash to buy custom-made outfits to wear in a handshaking event involving the pop idol group AKB48, police said Aug. 26.

The boys, all from Saitama Prefecture, approached the victim, a 27-year-old graduate student, in Kita Ward, Tokyo, on Aug. 11, grabbed him by the shoulder and demanded cash.

The youths fled the scene with the man's mobile phone and other belongings, slightly injuring the victim in the process.

Two of the youths, both 17, were arrested that day. The other two, both 15, were taken in a week later, the police said.

According to media reports, one of the 17-year-olds planned the mugging. He confessed that the teens carried out the assault to get money to buy the *tokkofuku* uniforms embroidered with names of their favorite AKB48 members.

Literally translated as a "special attack uniform," *tokkofuku* refers to attire embroidered with huge bellicose images, including dragons, as well as poetry.

When contacted by The Japan Times, a shop clerk at a popular *tokkofuku* manufacturer in western Japan said each uniform costs an average of ¥50,000 to ¥60,000

depending on how "intricate and big you want the icons to be," he said on the condition of anonymity.

Tokkofuku used to mainly be sought after by *bosozoku* (biker gangs) interested in intimidation. But when the police started a crackdown on their lot, the bikers basically shunned such attire to keep a lower profile, the clerk said.

Nowadays, *tokkofuku* are mainly sold to hard-core fans of certain bands or celebrities, he said. Typically they have the names of their favorite artists stitched onto the outfits in the hopes of getting noticed. Along with AKB48, singer Namie Amuro, Kyary Pamyu Pamyu and punk rock band Kishidan have many such idolizers.



Left to right: Yuko Oshima, Rino Sashihara and Mayu Watanabe pose June 8 after being selected as the top three members of pop idol group AKB48 and its sister groups in an election at a stadium in Yokohama.

KYODO

"These fans are really desperate to get the attention of the people they idolize," the clerk said, giving his take on the four arrested teens. "By wearing *tokkofuku*, with the name of their favorite member on it, they're trying to show their love."

University's Challenge

国際交流に取り組む大学

全学生を対象に英語力を強化、グローバルリーダーを育てる充実したプログラム

法政大学

1970年代から奨学金による派遣留学制度を始めるなど、国際交流に関しては長い歴史を持つ法政大学。2012年度には「文部科学省のグローバル人材育成推進事業」に採択された。現在進んでいる本格的なグローバル化について、グローバル教養学部の^{そむらみつとし}曾村充利学部長に伺った。

英語イマージョン教育のグローバル教養学部発足

法政大学では、2008年に英語イマージョン教育を行う「グローバル教養学部」(GIS = Global and Interdisciplinary Studies)を設置し、すべての授業を英語で行うなど、いち早く教育のグローバル化に取り組んできた。「グローバル教養学部では今春、2回目の卒業生を輩出し、今秋、9月入学生を初めて迎えます。1学年が66人、1クラス20人弱と少人数制で、授業の内容もグループディスカッション、プレゼンテーションなど、一般的な日本の大学の授業とは異なるものになっています」と、曾村充利グローバル教養学部学部長。曾村学部長は、同大のグローバル人材育成推進事業全体を統括するグローバル人材開発センターのセンター長を兼任している。

グローバル教養学部のような学部で先端の授業を行うと同時に、大学全体で英語力を高めるためのプログラムを行っているところにも、同大の大きな特徴がある。一定以上の英語力があれば、学部や学科にかかわらずだれもが受講することのできる、ERP (English Reinforcement Program = 英語力強化プログラム) を、今年春から実施している。単なる英会話レッスンではなく、リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの4技能を統合的に高める授業です。レベルは4段階に分かれ、上位のレベルの学生は、GISで指定の科目を受講することが可能となります。講師は外国人が中心、1クラス10~20人程度の少人数制で、単位認定のない非正課科目ながらも、追加で受講料を払う必要はない。全学の英語力アップにつながる総合的なプログラムとして期待されている。

このERPをサポートする存在として、Gラウンジ (Globalラウンジ) がある。ネイティブスピーカーである英語学習アドバイザーが常駐、学生の相談に乗るほか、英語で話してみたい、海外生活について知りたいといった要望に、気軽に応えてくれる。また、法政大学では約500人も外国人留学生が学んでいることから、日本人学生と外国人学生でペアを組み、語学の交換レッスンを行うという試みも行われているようだ。

派遣留学で奨学金を支給 異文化体験を重視

1979年度に始まった派遣留学制度で

は、留学先の大学の授業料が免除されるのみならず、各自に奨学金が支給される。生活費・渡航費など使用目的を問わず、1人70万円もしくは100万円が与えられるのである。派遣先は14の国・地域の34大学に及び、アメリカ、イギリスといった英語圏だけでなく韓国、中国、ドイツ、フランス、ロシアなど幅広い。1年間留学しても留学時期によっては合計4年間で卒業できるとあって、就職活動への影響も少ない。近年は毎年約60人の学生がこの派遣留学を利用しているようだ。イギリスのシェフィールド大学で経済学を学んだ学生は、「留学先での勉強は今思い返しても本当に辛かったと思います。一つの問題を解くにも文献を10冊程度読むなど、予習をかなり強いられました。しかしその辛い日々があったからこそ、最後にクラストップになったときには、大変な達成感がありました」と感想を残している。

派遣留学のほか、学部ごとに10日~5カ月間程度の短期の留学制度があり、派遣留学などと合わせると、1年に約800人も学生が、何らかのかたちで海外留学を経験していることになる。短期の留学でも、語学を学ぶだけにとどまらず、ビジネスコミュニケーションを身につける、福祉やまちづくりについて知るといった、さまざまな課題を体験することができる。特に法学部の国際政治学科では、夏休みに2週間程度、学科の学生全員がイギリスのオックスフォード大学で学ぶ、Hosei Oxford Programme (HOP) を実施。現地の寮に入り、英語やマナーを徹底的に身につけるのが目的だ。

さまざまな国の言語や文化を学ぶ科目を設けている国際文化学部でも、学部生全員が2年次の秋学期に、1~5カ月の留学を経験することになっている。行き先はアメリカ、イギリス、カナダ、フランス、スイス、中国、韓国など10カ国7言語圏の16大学から選ぶことが可能だ。海外の学生とともに学ぶことで現地の文化や生活をより深く理解することができるようになり、それが帰国後の勉強や就職先の選択などに役立つ。スイスに留学した学生は、「5カ月も日本を離れたのは初めてで、最初は不安ばかりでしたが、語学力の上達はもちろん、日本にはわからない異文化を肌で感じる事ができました」と語っている。こういった短期の留学についても、さまざまなかたちで奨学金が用意されている。

海外でさらに多くの経験がしてみたいと



グローバル教養学部授業風景

いう学生のために、国際ボランティアや国際インターンシップの機会もある。ボランティアのプログラムでは、学校や孤児院での教育補助などを行った。

国際インターンシップでは、バングラデシュやフィリピンに派遣。現地のNPO団体において、貧困地域の子どもの支援、農村開発などを行った。帰国してからも、NPO団体のイベントに継続して参加している学生がいるようだ。

またオーストラリアのワーキングホリデービザを取得、現地の企業で働くといったプログラムが組まれている。

外国人留学生らとともに英語の授業に参加

留学やボランティア、インターンシップに必要な英語力を鍛えるため、もしくは帰国してからの語学力維持というだけでなく、英語イマージョンで専門科目を修得するために、同大では、他学部・他学科の英語で行われる授業を受けられるシステムが整えられている。

先に述べたように、ERPで一定以上のレベルに達した学生は、GISの一部の授業を受講することができる。GISの1年次の学生が履修する、Urban Society, Space in Japanなど多岐にわたる科目だ。海外からの留学生や帰国生、国内のインターナショナル・スクール出身者などが多いGISの授業に出ることそのものが、他学部の一一般の学生にとって、大きな刺激になるようだ。

また、法政大学では海外からの交換留学生向けに英語で授業を行うESOPプログラム (Exchange Students from

Overseas Program) が、1997年から実施されている。通常はアメリカ、イギリス、フランス、韓国、ロシアなど海外から来た交換留学生が学んでいるが、一定以上の英語のレベルに達している日本人学生も、希望すれば受講することが可能だ。内容は日本経済、日本のマーケティング、日本の家族制度など日本に関するものが多く、日本を客観的に研究する、よい機会となる。GIS、ESOPともに授業はナチュラルなスピードの英語で行われ、進め方も英語圏の大学の授業と同等か、それに近いものであることから、日本にいながらにして、英語圏に留学している環境を得ることができるのだ。

さらに、日本人留学生が日本の各地を訪れ、日本の歴史や社会、文化についてより深く知る研修「スタディ・ジャパン」を実施していて、日本人学生もこれに参加することができる。留学生と交流しつつ、日本の文化、日本人の考え方を説明できるグローバルリーダーとなれるチャンスが得られる。

英語のみならず、他の言語の語学力を向上させる科目も設けられている。国際文化学部では、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮語において一定レベルにある学生を対象とした科目を今年度から開講している。これらの科目は他学部の学生も受講することが可能である。海外留学経験のある学生にとっても、語学力の維持のみならず、さらなる向上を目指すことができる。

曾村学部長は「大学が整えている充実したプログラムを十分に活用し、真の“グローバルリーダー”に育ててほしいと考えています」と願いを込めて語った。

法政大学

1880年に政府の法律顧問を務めていたフランス人法学者ポアソナードの門下生らにより設立された、東京法学社を前身とする。1920年に法政大学となった。1977年に国際交流センターを設置、1979年奨学金による派遣留学制度を開始。市ヶ谷キャンパスには地上27階・地下4階の高層ビル「ポアソナード・タワー」がある。

Study Abroad Benefits

留学で培う3つの力

留学で培う3つの力

Vol. 6

University of Alberta 名城 万紀子

留学は異文化に触れ、多様な価値観に出会う機会となる。このコーナーでは「IELTS 北米奨学金」「IELTS Study UK 奨学金」の受賞者たちに、留学で培った3つの力について語ってもらう。今回は University of Alberta に交換留学した名城万紀子さんに話を伺った。

私は、2012年9月から2013年4月末まで大学の交換留学プログラムにより、カナダのアルバータ大学で教育学を専攻しました。アルバータ大学を選んだ理由は3つあります。まず、カナダの多文化社会における教育に大変興味がありました。次に、カナダの実社会をベースにした教育学を学ぶことで、私が将来、日本または海外で教師になるという夢に役立てたいと思いました。そ

して、自分の英語力を伸ばすと同時に、英語教育について英語を母語とする学生と意見交換をすることにより、日本では触れることのできない新たな視点に触れ、私が目指している英語教師に求められる要素を探り、それを身につけたいと考えたのです。それには英語圏であり、多文化教育を徹底しているカナダの大学が適していると思い、留学を決めました。

◎ ミスを恐れない力

「ミスをおれない力」も身につきました。留学前の私は、英語での授業の際、自分の考えや意見を積極的に発言することが苦手でした。それは、自分の英語に自信がなく、英語の発音や文法が正しくない文章や答えを人前で述べることを恐れていたからです。英語で行われていた授業の中で、自分の持つ力を十分に発揮できていなかったように思います。ところが、アルバータ大学で履修した授業は、日本での環境とはまったく違いました。授業は私以外、英語を母語とする学生ばかり。しかも少人数クラスであるため、ディスカッション中心で、ほとんどの学生が物怖じせず積極的に意見を述べます。そのような中で、初めは議論についていけない日々が続き、悩む時期もありました。しかし、ある日、授業中に教授に指名され、突然、日本での私の経験を紹介する機会を持つことになりました。その際、周りの学生は、決して流暢とは言えない私の英語に、興味を持って耳を傾けてくれ、なかには授業後に私に質問する学生もいました。

私はとてもうれしく思い、自分の経験



自分の考えを仲間に伝えられるようになった

を紹介することや意見を伝えることは、価値のあることだと気づきました。また、英語のミスに気にして、消極的に、ただ座って聴くだけに留まることは非常にもったいないことだと気づき、自発的に授業に参加しようと強く思えるようになりました。それ以来、私は自分の意見に自信が持てるようになり、英語のミスを恐れずに発言し、思っていることを教授や他の学生に伝える機会を大切にするようになりました。留学前と比べると英語で堂々と意見を述べる力が少なからず身についたように感じています。また、間違ふことは決して悪いことではなく、ミスをするだけで初めてその間違いに気づき、改善のために努力することで成長につながるのだと実感しました。

◎ 自分と向き合う力

留学して身についた力、それはまず「自分と向き合う力」です。留学中は自分とは何か、自分の置かれた立場はどういうものなのか、といった問いについて考える機会が増えました。日本では、コミュニティやグループ内で決められた役割を持つことが多々ありましたが、カナダでは、何もかもがゼロからのスタートであり、自分のことについて、すべて自分で整理しなければなりません。そのため、これまでなら考えなかったようなことを冷静に考える習慣が身についたように感じます。例えば、留学先での経験や思いを書き留めるために、日記を書き始めました。日本では日記など、ほとんどつけたことはありませんでしたが、日記を通じて、自分の経験したことをまとめ、読み返す習慣がついたことは、自分と向き合う時間をつくるうえで、とても効果的でした。日記を書くことで、自分の長所や短所に気づくこともあり、自身を見直し、改善するために、次にどうしたらよいのかなどについて考え、行動に移す努力をすることも増えました。

さらに、世界各国から集まった、様々なバックグラウンドを持つ学生と出会い、自分自身について考えること



カナダに来てから自分を見つめる機会が増えた

が多くなりました。私が住んでいた寮は各国からの留学生が多く、彼らとキッチンやラウンジなどを共有しながら共同生活を送ります。異なる価値観を持つ学生との交流の中で、今まで気づくことのなかった自分の姿を、客観的に見つめ直すこともできるようになりました。育ってきた環境や経験の全く違う友人の考えに触れることで、多くのことに気づかされました。周りの友人に親切にしてもらったり、助けてもらったり、時にはアドバイスをもらったりする中で新たな刺激や影響を受け、普段とは違う角度から自分を見つめることができるようになった気がします。自分にとってはこれまでになかった「進歩」であると感じています。

◎ 決断力

留学を通じて、自分のやりたいことや、やるべきことを「決断」し、それらを「行動に移す」力が身についたように思います。留学前の私は、どちらかといえば、自分で決断して何かを成し遂げるというよりも、環境に任せてやるべきことをこなす状況が多かったように思います。ところが、留学生活が進むうちに、私自身が自らやりたいことや、やるべきことを考え、それを貫くために努力をしなければ、何も進歩せず平凡な生活に留まってしまうと気づきました。カナダでの限られた貴重な時間を有効に活用するためには、思い切って一歩を踏み出し、何事にもチャレンジした方が得をするのではないかと考えが芽生えたのです。そのため、新たなことに挑戦しようと思いついた際には、すぐに行動に移せるようになりました。

例えば、スケートのレッスンや小学校でのボランティアに挑戦したり、今までとは違うタイプのクラブ活動に飛び込んだりと、日本ではできなかった、新たなことにチャレンジしてきました。これらはすべて、私が自ら考え、決断したことであり、そのように行動に移せたことが私にとってはうれしく誇り

に思え、とても満足しています。これからも、このような新しいことに一生懸命取り組み、最後まで成し遂げていきたいと考えています。

私は日本では常に、周りの友達や両親などに相談し、自分で決断する前に他人の意見に頼ってしまう習慣がありました。しかし、留学中にこのような「決断力」が身についたことは大きな成長のひとつであると思っています。自分でやりたいことを決め、優先順位を判断することは、とても大事なことで気づくと同時に、自ら実行する力が徐々に身についています。

今後もこれらの3つの力にさらに磨きをかけると同時に、自身のあらゆる弱点に気づき、それらを克服していきけるように努力していきます。



スケートにチャレンジしたのもよい経験

Special Features

特別読み物

●大きな夢を持って留学実現!●

IELTS北米奨学金 IELTS Study UK奨学金

北米またはイギリスでの留学をサポートする「IELTS 北米奨学金」「IELTS Study UK 奨学金」の授賞式が、7月29日、東京・千代田区の駐日英国大使館ニューホールで開かれた。その模様と受賞者たちの表情をお伝えしよう。



自らの考えを英語で発表

英語の運用能力を測る試験であり、海外の大学に入学する際の英語力証明手段として広く活用されているIELTS (アイエルツ)。このIELTSで一定以上のスコアを取って留学する人に与えられるのが、「IELTS 北米奨学金」「IELTS Study UK 奨学金」だ。

「IELTS 北米奨学金」はアメリカまたはカナダの大学・大学院に入学する人を対象とし、5人の奨学生に対し、それぞれ6,000米ドルが支給される。「IELTS Study UK 奨学金」は、英国の大学・大学院で学ぶ人が対象。4人の奨学生に対し、それぞれ3,000ポンドとロンドン〜成田間の往復航空券が与えられる。

「海外に出ると、自分が日本人であることをより意識するようになります。日本の文化にプライドを持ち、日本人として堂々と活躍できる人間に育つことを期待しています」と、日本でIELTSをブリティッシュ・カウンシルと共同運営する公益財団法人日本英語検定協会の奥城泰理事。

奨学生募集はウェブサイトや大学掲示板などで告知、2回の選考を経て受賞者が決まる。一次選考では、留学によって自分自身がどう変わるかについて300語の英語エッセイを書き、さらに二次選考のインタビューで、英語での面接を受ける。高い英語力が求められるのはもちろん、自分の目標をしっかりと持ち、それを明確に説明する力が必要とされるのである。

日本ではできないことを学ぶ

では、今回、「IELTS 北米奨学金」「IELTS Study UK 奨学金」を受賞したのはどういう人たちなのだろうか。何人かをご紹介します。

まず、津田塾大学4年生の高橋ひかるさんは、交換留学生として9月からスコットランドのエジンバラ大学で学ぶ。「留学を目指してずっとIELTSの勉強をしてきて、試験は合計7回も受けました。その努力が今回こういうかたちで報われて、とてもうれしく思っています。エジンバラ大学では、心理学を学びたいと考えています。一昨年の震災によって、傷ついた人の心をもっと理解したいと思うようになったのがきっかけです。日本では心理学は文系の学問とされることが多いのですが、海外では生物学と結びつけ、人間の脳の働きと関連づけて分析するといった研究が行われています。そういった、日本ではできない勉強をすることが楽しみです」。英語圏への渡航は今回が初めて。日本の高校・大学での勉強や自らの努力によってチャンスをつかみ取った。

アメリカのカリフォルニア大学パークレー校に留学する東京大学2年生の西條柚さんの動機は少々ユニーク。「日本の“お笑い”の世界を変えたい」というのが目標だ。「両親が芸能界の仕事に携わっていて、子どものころからずっとお笑いの世界に興味がありました。テレビで見るだけでなく劇場に足を運んで若手の舞台を見ているうちに、実力のある人がもっと活躍できるよう

な業界システムが必要なのではないかと考えるようになったんです。アメリカではマスメディアやエンターテインメントの世界を幅広く学び、将来日本のショービジネスの世界に貢献したいと考えている。受賞スピーチを流暢な英語でこなしたが、これまで海外生活経験はなく、英語はテレビで海外のコメディ番組などを見て身につけたそうだ。

このほか、カナダで移民政策を学びたい人、イギリスで国際関係学を学び外交官になりたい人など、9人の受賞者の動機や目標はさまざま。アフリカでボランティアをした経験があり、発展途上国での道路建設のため留学したいという建設会社社員もいた。

授賞式では、「皆さんのスピーチを聞いて、それぞれが非常に有意義な目標を持っていることがわかり、大変感銘を受けました。これから広い世界に出ていく皆さんの活躍を楽しみにしています」と、英国大使館のジュリア・ロングボトム公使がスピーチ。

受賞者は皆、海外の大学への入学にあたって一般に必要なとされるスコア6.0をクリアしている(ちなみに最高スコアは9.0)。来年の奨学金にチャレンジしてみたい人は、ぜひ一度IELTSを受験し、自分にどれだけの力があるか測ってみよう。

■ IELTS (アイエルツ)

現在、世界135カ国で実施されている英語運用能力試験。「リスニング」「リーディング」「ライティング」の筆記試験に加え、面接による「スピーキング」試験を実施。東京・大阪・広島・福岡・札幌など、全国13都市の会場で実施。申し込みは日本英語検定協会のウェブサイトまたは郵送で。テスト結果は1から9までのバンドスコアで表示され、留学を希望する場合は、IELTSの成績証明書を出願先に提出することで、英語力の証明となる。主に英国、アメリカ、オーストラリア、カナダ、ニュージーランドの高等教育機関で利用されている。

「ライティング」の筆記試験に加え、面接による「スピーキング」試験を実施。東京・大阪・広島・福岡・札幌など、全国13都市の会場で実施。申し込みは日本英語検定協会のウェブサイトまたは郵送で。テスト結果は1から9までのバンドスコアで表示され、留学を希望する場合は、IELTSの成績証明書を出願先に提出することで、英語力の証明となる。主に英国、アメリカ、オーストラリア、カナダ、ニュージーランドの高等教育機関で利用されている。

■ IELTS 北米奨学金 (2013年度)

アメリカまたはカナダの大学・大学院へ留学する日本在住者が対象。IELTS 北米奨学金事務局が受賞者5人を選考。学費補助として1人につき6,000米ドルを支給。

■ IELTS Study UK 奨学金 (2013年度)

英国の大学・大学院へ留学する日本在住者が対象。ブリティッシュ・カウンシルが受賞者4人を選考。1人につき3,000ポンドとロンドン〜成田間の往復航空券を支給。

■ 2014年度募集

2013年9月下旬頃にブリティッシュ・カウンシルのウェブサイト上で詳細発表。
<http://www.britishcouncil.jp/exam>で確認のこと。

※北米、UKともに、応募にはIELTSのオーバーオールスコアで6.0以上を取得しておく必要がある。

IELTS™



IELTS
The international license.

IELTSという名の国際免許証

IELTS (International English Language Testing System, アイエルツ)は、英語圏への留学や、移住を志す人の英語能力を評価するために作られたテストです。信頼性、公平性の高さからイギリス、オーストラリア、アメリカ、カナダを始め世界135カ国で約7,000の機関が、IELTSを受け入れ基準として認めています。2011年の全世界合計の受験者数は、170万人に達し、英語能力試験のグローバルリーダーの役割を果たしています。

日本では、東京、横浜、名古屋、京都、大阪、神戸、広島、岡山、福岡、札幌、仙台、金沢で受験することができます。

お問合せ・受験申し込みは、公益財団法人 日本英語検定協会 IELTS 事務局まで
www.eiken.or.jp/ielts

IELTSとは…

16歳以上を対象にしたテストで、英語で授業を行う大学や大学院に入学できるレベルに達しているかどうかを評価するアカデミック・モジュールと、英語圏で学業以外の研修を考えている方向けのジェネラル・トレーニング・モジュールの2種類があります。いずれも、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの4つのテストで構成されています。IELTSは、フェアな試験内容と高い信頼性が特徴のテストです。一般的な英語検定テストと異なるのは、1対1の面接形式で行われるスピーキングテストがあることです。試験官が、受験者のコミュニケーション力を最大に引き出し、評価できるようにインタビューを行います。これが、他のテストと一線を画す、生きた英語を習得できるのがIELTSの強みです。



ブリティッシュ・カウンシルでは、IELTS 試験対策コースを東京・横浜で開講中!!
www.britishcouncil.or.jp

勉強法や留学した人の体験談がわかる
<https://www.facebook.com/bcofficialIELTS.jp>

公益財団法人
日本英語検定協会

BRITISH COUNCIL
公益財団法人 日本英語検定協会は、ブリティッシュ・カウンシルと日本でのIELTSを共同運営しています

IELTS

テストのコツ

ブリティッシュ・
カウンシル
に聞く

IELTS テストのコツ

by Robin Skipsey

今回もリーディングテストの対策です。リーディングテストに必要なボキャブラリーの強化法と読解スピードを速める方法についてみていきましょう。

最初に、リーディングテストで高スコアを取るために必要な2つのスキルを挙げます。それは、素早い読解スピードと豊富なボキャブラリーです。テストでは、1時間で2,500ワードにも及ぶ文章を読まなくてはなりません。難解な場所は繰り返し読むこともあるでしょうから、実際にはもっとです。また、ボキャブラリーという点では、一般的な英語やアカデミックな英語だけでなく、科学や社会学の分野で広く使われる英語にも通じていなくてはなりません。

それでは、読解スピードを向上させたり、豊かなボキャブラリーを築いていくには、どうすれば良いのでしょうか。先に答えを言ってしまうと、いずれのスキルを向上させるにも、読むこと(リーディング)のほかにはありません。しかし、従来の読み方ではなく、今までと違った読み方をしていく必要があります。

新しい語彙を身につける

多くの人は、ボキャブラリーを鍛える際、単語集に載っている単語を片っ端から暗記していく方法に頼りたくなるものです。そういう単語集は本屋やインターネットで簡単に手に入るからです。しかし、この方法はある程度までは通用するものの、問題点もあるのです。

- ・人間の脳は、ストーリーと結びつけて記憶するのが得意。単語集のようなリストを暗記していくことはむしろ不得意である。
- ・仮になんとか単語集の単語を覚えることに成功したとしても、すぐに忘れてしまう。
- ・単語やフレーズ単体から得られる情報はわずか。フォーマルな言葉なのか、どんな言葉と一緒に使われることが多いのかなどは分からない。
- ・非効率なだけでなく、とても退屈な作業である。すぐにやる気をなくしてしまう。

実はボキャブラリーを鍛えるために一番良い方法は集中的なリーディングを重ねることです。教材としては、IELTSの練習問題も良いですが、それと同様に'Nature'や'The Economist' 'Intelligent Life' 'Scientific American' 'History Today'などの雑誌を読むことがとても役立ちます。これらの雑誌は、IELTSのリーディングテストでしばしば出題されるようなテーマをカバーしているからです。BBCのウェブサイトも参考にしてください。

語彙を鍛えるためのリーディング

リーディングの題材は、理想的には自分の興味がある内容のものを選ぶようにしましょう。これはやる気に関わってきます。そして、しばらくは分からない単語にチェックを入れながら、なんとか自力で読んでみるようにします。それが終わったら、辞書を使って振り返っていきましょう。もしあなたが自分のオリジナルの単語帳を作っているのなら(これはぜひやりましょう)、分からなかった単語の日本語訳だけでなく、英英辞典の定義をそのまま写す作業もします。これは同義語や反義語を覚えるのに有効です。また、テキストから分からない単語の入っている文章を転写してみるのも、文脈を通じて単語を覚えることができるお勧めの方法です。

では、例題を参考にしながら、具体的な単語の覚え方をお教えします。例えば、以下のような文章を読んでexacerbateという単語を覚えたいと思ったら、次のような形で書き留めておきます。

"All these activities may have damaging environmental impacts. For example, land clearing for agriculture is the largest single cause of deforestation; chemical fertilisers and may contaminate water supplies; more intensive farming and the abandonment of fallow periods tend to exacerbate soil erosion."

単語メモの例:

New word:	exacerbate - 動詞(フォーマル)
Translation:	悪化させる
English definition:	make something worse
Example sentence:	"Water pollution tends to <u>exacerbate</u> local health issues."

単語帳はこのように作っていきます。では、実際のテスト中に知らない単語が出てきたらどうすればよいでしょうか。そうした際に、単語の意味を推測するための方法をひとつお教えします。それは単語を分解することです。

例えば'deforestation'という単語であれば、以下のように分解できます。

1. この単語の核は'forest'
2. 'de'は否定的な意味のある接辞
3. 'tion'は名詞であることを意味する接辞

こうしてみると、'deforestation'は森林伐採に関連する名詞であると推測できます。様々な接辞がどのような意味をもつかの知識を持つことは、ボキャブラリー強化の道において、大きなアドバンテージとなるのです。

ボキャブラリーを強化する道で一番大切なことは反復です。一度読んだテキストを何度も読み返しましょう。よりじっくりくみましょう。そして次は、同じテーマの別のテキストを読んでみましょう。同じような単語が出てきませんか? もう怖くないですね。こうした作業を繰り返すことで、新しい単語は確実にあなたの中に定着していきます。

読解スピードを速める

これまでボキャブラリーの強化法をみてきました。最後に読解スピードを速める練習法をご紹介します。ボキャブラリー強化のためのリーディングというのは、とても時間がかかるし、骨が折れるものです。しかし、このような読み方しかしていないと、遅読に慣れてしまうと同時に、知らない単語が出てくるたびに調べたくなる衝動に駆られるようになります。もちろんこのような状態ではテストで通用しないわけです。どうすればよいでしょうか。

それには、自分が喜んで読みたくなるようなテキストを探し、できるだけ速く読む練習を重ねることです。この方法は、エクステンシブ・リーディングと呼ばれています。レベルは、自分の読解力に応じたものか、それより少し簡単なものの方がいいでしょう。そうしたテキストを常にカバンに入れておき、時間があれば、読むようにします。知らない単語の意味を調べたくなる衝動を押さえ、テキスト内容の理解に努めます。この方法を通じて、文脈を推測しながらつかんでいく力と単語の意味を推測する力の両方が同時に鍛えられます。ポイントは、とにかく速く読んでいくことです。

ボキャブラリー強化のための"インテンシブ・リーディング"と速読力強化のための"エクステンシブ・リーディング"により、リーディングスキルは飛躍的に向上するでしょう。そして、ライティング力やスピーキング力向上にもつながります。本番がんばってください。

九州海外留学フェア 2013

世界各国の大使館・公的機関や日本国内の留学専門団体が西南学院大学に集まり、海外留学を希望する中高生、高専生、大学生、社会人の方々に留学についての最新情報を提供します!

参加国 アメリカ・イギリス・カナダ・オーストラリア・フランス・イタリア・フィンランド



英検の過去問題やIELTS模擬面接、英検二次試験模擬面接もすべて無料です!

参加無料

開催日時

10月5日(土)
11:00~17:30

(入退自由です。特設ウェブサイトからオンラインでの事前登録を推奨しています)

会場

西南学院大学
西南クロスプラザ 2F

〒814-8511 福岡市早良区西新6丁目2番92号

イベントの詳細や個人・団体参加申込については
下記のウェブサイトをご確認ください。

九州海外留学フェア2013

検索

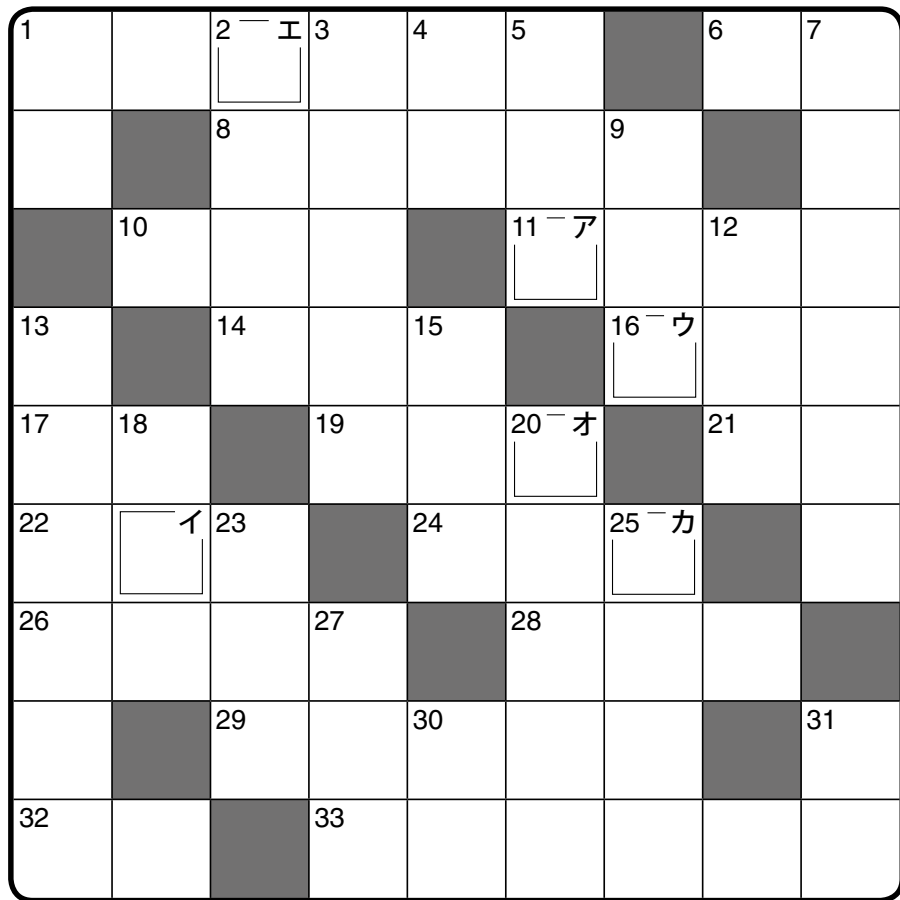


Crossword and Trivia

読み物

Crossword Puzzle by 黒須和土

語彙力が試されるクロスワードパズル。簡単ではないかもしれませんが、根気よく挑戦してみましょう！



8. Uncovers
 10. "Break a ___!": "Good luck!"
 11. French designer Christian ___
 14. King ___ of Egypt
 16. "There were discussions ___ and con."
 17. "A change is ___ good as a rest."
 19. "He has a keen ___ (= good hearing)."
 21. ___ Jazeera (news network)
 22. "___ at Work"
 24. Past tense of get
 26. Soy___: daizu
 28. ___ Ben, London
 29. English rock musician David ___
 32. Japanese rock band L'Arc-___-Ciel
 33. Roam

DOWN

1. Journey ___ the West: Saiyuki
 2. Assist in wrongdoing
 3. Not clear or distinct
 4. "An inhabitant of a village is a villag___."
 5. Past tense of lead
 7. Walk leisurely
 9. Drink in small quantities
 12. "Is a tomato a fruit ___ vegetable?"
 13. Move about aimlessly
 15. Price ___: nefuda
 18. "I ___": "I understand."
 20. ___ Hood
 23. Arrest
 25. Fastened with string or rope
 27. "I have to go ___."
 30. Washington (abbr.)
 31. More ___ less

ヒント

今回のテーマは「パズルで旅をしたい」です。6-Across は「踏み固められた道が最も安全」。「普通のやり方が一番」という意味です。10-Across はよく舞台俳優に言う言葉。体の一部を表す語が入ります。11-Acrossは「ディオール」。14-Across は「ツタンカーメン」のこと。16-Across は「賛否両論が戦わされた」。17-Across は「変化は休息と同様の価値がある」。22-Across は「工事中」という看板の文字。manの複数形が入ります。29-Acrossは「ボウイ」。32-Across は「ラルクアンシエル」。1-Down は『西遊記』。20-Down は弓の名手。27-Downは「もう行かなくちゃ」。

ACROSS

1. Go on a trip
 6. "The beaten road ___ the safest."



※週刊STより転載

教えて! 英語のプチ教養

文：黒須和土

犬にまつわる面白い英語表現を教えてください。

- **go to see a man about a dog** ⇒ ちょっと行ってくる
 ちょっと出掛けるが、用事の内容をはっきり言いたくないときに使う、便利な言い回しです。例えばトイレに行くときに、"Sorry, I'm just going to see a man about a dog." と言って姿を消します。
- **a dog in the manger** ⇒ 意地悪な人
 manger は「飼い葉桶」。イソップの寓話に、飼い葉桶の中に居座って牛がまぐさを食べるのを邪魔した犬の話が出てきます。そこから、「自分で使いもせず、欲しくもないような物を、意地悪して他人に使わせようとしなひねくれ者」という意味で使われるようになりました。
- **The dog ate my homework.** ⇒ 犬が食べちゃったので宿題を出せません

学校の宿題をやってこなかった子どもの言い訳の定番。ほかの動物のバージョンもあります。My dog ate it. とも言います。へたな言い訳を口にする人をからかうときにも使われます。

- **a [the] hair of the dog (that bit you)** ⇒ 迎え酒
 文字通りには「かみ付いた犬の毛」。犬にかまれたら、その犬の毛を傷に付けると治るという古代の俗信に由来します。不調のとき、あえてその原因となったものをさらに摂取して治すという荒療治を指すこともあります。「毒をもって毒を制す」に似た表現です。
- **dog-ear** ⇒ 本のページの隅を折ったもの
 犬の耳のような格好から。「ページの隅を折る」という動詞にもなります。
- **doggy bag** または **doggie bag** ⇒ 残した料理のお持ち帰り容器
 外食で料理が残ったときに持ち帰るための取っ手付きの紙箱などの容器で、レストランで用意してくれます。「犬にやる」という名目で持ち帰るわけです。"Do you have a doggy bag for this?" (これ持って帰りたいんですが、入れる物ありますか?) のように使います。
- **the tail wagging the dog** ⇒ 本末転倒
 犬がしっぽを振っているのではなく、しっぽが犬を振っているような本末転倒の状況を指します。
- **Dog Star** ⇒ シリウス
 シリウスは、冬の星座であるおおいぬ座 (the Great Dog または Canis Major) の主星。ついでに、dog days は「夏の猛暑期」のこと。7月から8月にかけて、全天で最も輝く星である Dog Star が太陽と同じ昼間の時間に昇るので、最も暑い日々を指して言われるようになりました。

※週刊STより転載